

啐啄

No.734

☎ 25-5125
☎ 25-3150



冬休み明け(令和3年)を迎えて

校長 峯 明 紀

保護者の皆様、地域の皆様には、例年以上の記録的な積雪に見舞われるなど大変な思いをされた御家庭もあったのではと御推察申し上げますが、総じて穏やかな新年を迎えられたことと存じます。本年も昨年同様御支援くださいますよう、よろしく願いいたします。冬休み中の子どもたちの状況ですが、大きな事故やけが等の報告もなく冬休み明けのスタートを切ることができました。保護者の皆様の御協力のお陰です。本当にありがとうございました。

さて、今年度も残すところ3ヶ月を切りました。6年生は、卒業と進学に向け小学校の集大成をする時期です。また、他の学年もそれぞれ次の学年へ進級するために、当該学年のまとめをしていく時期でもあります。さらに学校では、今年度の教育活動を振り返り、成果と課題を踏まえながら来年度の教育計画を立てているところです。

本校では昨年同様、学校教育全体でキャリア教育を推進しながら、3つの力をバランスよく育むことを目指すために、

1. 主体的・対話的で深い学びの視点にたった授業づくり
2. 他者と適切に関わり自他の命を大事にする心の育成
3. 心身共に健康で、よりよい生き方を考える態度の育成



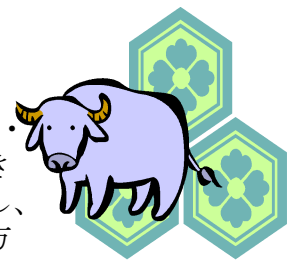
について検討を進めております。そして下記の囲みに示しましたように、「新しい時代に必要な資質・能力」の育成を目指していきます。

※「新しい時代に必要な資質・能力」

- ◇学んだことを人生や社会に生かそうとする
- ◇実際の社会や生活で生きて働く
- ◇未知の状況にも対応できる

学びに向かう力、人間性など
知識及び技能
思考力、判断力、表現力など

また、来年度以降も、地域の皆様の協力を得ながら、「ふるさと大館（新井田）」の歴史やよさを知り、体験できる教育活動についても、コロナ禍ではありますが推進していく予定です。地域と結び付く貴重な体験活動が、「キャリア教育」で培いたい資質・能力・態度の一つである「ふるさと意識」を育てることにつながっていきます。子どもたち一人一人が生きる力を身に付け、ふるさとを愛し、自分たちの未来に希望をもち続けられるよう、今後も地域の皆様方の御支援・御協力をお願いいたします。



※冬休み明けも、保護者の皆様にも通知申し上げましたように、子どもたちも教職員も一人一人が新型コロナウイルス感染予防に努めるとともに、インフルエンザの罹患にも十分に気を付け、三密を回避しながら、換気や手洗い・うがいに心がけるとともに、基本マスクを着用しながらの教育活動を進めてまいります。保護者の皆様の御協力をお願いいたします。



「啐啄」（そったく）：「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音。
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。